

蒲郡市議会全員協議会

No.	意見	備考
1	人の確保が非常に重要。Society5.0が進むことをもってして、職員を減らす方向にならないようにしていただきたい。今回のコロナで市民病院や保健センターなど、非常に人は重要だということが、今回改めて指摘されている。	2020/9/1
2	地域の自治会活動の担い手が減っている。高齢化になっているため、運営方法の見直しを検討する必要があるが、公民館が高齢者の利用に偏っているのが公民館を考えていくときに、もっと広い世代に交流ができないといけないんだという考え方だと無理がある。むしろ市民ニーズに合わせていくべき。若い世代は利用したいのは例えば、バンドの練習が遅くまでできる場所などであり、このようなことを考えていくべきである。	2020/9/1
3	透明性の確保について、情報公開請求があった時に、黒塗りの文書を出したり、会議録が作ってなかったり、情報公開審査会からも会議録を作るようにと指摘されたことも、数年間の間だけでもあった。情報公開にふさわしいものにしていただきたい。	2020/9/1
4	市民病院の経営改善において、連携体制が整い病院の稼働率、医療収益が大幅に改善された。医師看護師の負担軽減と、賃金・手当、労働環境の改善などを実施して、医療従事者の人材の確保につなげてほしい。	2020/9/1
5	形原や東部また西部にコミュニティバスが始まり、三谷地区でも運行が始まる。今後も運行地区が増加していくというような計画を第5次総合計画に明記していただきたい。また、地区の要望を加味していただき、コミュニティバスを進めていただきたい。名鉄の利用促進においては、乗降客数が増加している。西尾市と蒲郡市が協力し、名鉄とも話し合いをさせていただきながら、愛知県からの補助金につきいても、再度、要望をするようお願いしたい。	2020/9/1
6	蒲郡駅中の観光交流センターは、情報発信、イベントスペースの活用で、観光情報の発信が充実したとあるが、充実とまではいかない、不足であると思う。今後さらに発信できるようにしていただきたい。観光協会の体制の見直しの必要性を強く感じる。コロナの影響で観光市場の需要の変化が危惧される。今後外国人観光客の減少、また、団体旅行の減少が予想されるため、対応していくことが大変重要になってくる。	2020/9/1
7	多目的なスペースとして使われている竹島ベイパークの使い方について、東港全体の開発と整備が重要である。ベイパークの使い方また東港全体の開発として整備について第5次総合計画の中に具体的に盛り込んでいただきたい。	2020/9/1
8	評価でA、Bを合わせると、ざっと84%ぐらい成果が上がっているとのこと。C、D評価となった残りの部分を取り組む、もしくは新しい項目が入ることが考えられる。10年を振り返ると、ラグーナもやることはいっぱいある。市民病院は今非常に良くなっている。再生医療も進んできているというような話も聞いている中ではあるが、今後も進めていただきたい。企業用地も1ヶ所でき、企業も来ていただくこともできたが、働く場の確保はしていかないといけない。若者がこの街で、住み続けるためには働く場を確保し、人口増加に繋げていただきたい。新しいものを、どんどん取り入れていただいて、次の10年につなげていくことが大事である。将来のこのまちを担う子供たちが、住みたいと思うまちづくりをするためには、このようなことをしっかりと頭に入れて、今後10年を見据えていただきたい。	2020/9/1
9	コロナの影響で大きく考え方や生活の仕方が変わってくるのではないと思う。まだ体験されていないことも多くある。アンケートは取り直す必要があるのではないかと。個人にとっては人生感が変わるし、社会のあり方が変わる。また、現在検討されている小中学校の規模の問題とか、公共施設について、まだ計画ができていない状況の中で総合計画作るのではなく、1年ぐらいずらして、現状を分析して、作る必要があるのではないかと。東京一極集中ではなくて分散型の社会になるのではないかとということも言われている。これらを含め、もう少しじっくりと今後10年を考える必要があるのではないかと。ウイズコロナの中で地域医療、市民病院をどうしていくのかということは大切。防災では、災害とコロナが一緒になると、ソーシャルディスタンスなど避難の体制そのものが全く変わってきてしまう。防災公園や体育館を防災の拠点としていくということも含めながら、ウイズコロナの社会に向けて検討していく必要がある。高齢者のスポーツにグラウンドゴルフについて触れられていない。市内の競技人口も、500人から1000人ぐらいの方々やっている。1年じっくりと議論し、今後10年の計画を作る必要があると思う。	2020/9/1
10	今後10年間、劇的に社会環境が変化していくことが予測される(AI、ドローン、ICTなど)。どの時期にどのぐらいまで進んでいるかは想定はできないと思うが、10年後を想定するとある程度かなり実現ができていだろうというのが予測される。これらをしっかり取り入れていただかないと、形骸化していつか片手落ちの部分が出てしまうと思うので、こういった部分についても意識して策定をしていただきたい。	2020/9/1
11	総合計画のあり方として難しいとは思いますが、各種個別計画の策定の時にお願いができればと思うが、KPIまでとはいかないにしても、わかりやすい達成基準をぜひ設けていただきたい。評価がB評価でできてるから、次の10年間はやらなくて違う施策となるとおかしい。	2020/9/1
12	SDGsの考え方を取り入れるということであるが、ロゴだけを入れていただけというのがありがちである。そうならないように気をつけていただきたい。考え方として17の目標があって蒲郡市としてその目標に10年間でどこまでを解決するのかというのをしっかり定めていた上で、どのような施策が必要だということを記載していただきたい。	2020/9/1
13	狭隘道路の整備について進んでいない。次の計画を練るときは、いろんな部署とまたがるため、ぜひ検討していただきたい。評価について内部評価ということで、主観的な面が多い。ある程度の客観性のある見方の基準を統一していただき、次に生かして、客観的な尺度を入れて、誰が見ても評価できていることがわかるようにしていただきたい。	2020/9/1

No.	意見	備考
14	<p>Aの評価をつけたものは、もう施策として十分な展開も終わったことではこれ以上の広がりが無い。BCDの評価は、まだ何かやり残したことがある、不十分だということである。成果を生かして今後10年にいかしていただきたい。</p> <p>5次総合計画は、いつできるのが大事ではなくて、記載されていることが今後10年間でどう実現されていくのかということが大事である。客観的に評価するのであればKPIなどを入れていかないと評価がわかりにくい。総合計画に記載されていることは目的目標であって、あくまでも手法ではないため評価できるような形にしていきたい。</p>	2020/9/1
15	<p>一番大事な事業が基盤整備事業だと思っている。土地が限られている中で、この247号線より北に農地が広がっているが、市街化調整区域も含め、農家さんが色々やっているが、かなりの農地が死んでしまっている。高齢化も進み、後継者もいない。基盤整備やったところはかなり収益を上げてやってよかったところもある。現在、西迫をやっているがこれからもっと、やっていかないといけないと思う。</p> <p>基盤整備事業は、企業用地や、公共施設、防災公園などを絡めてやっていくと可能になってくる。死んだ土地が活かされる。何十年後先を見れば、宅地になる可能性もある。整備をしていくにあたってお金がかかるが、この基盤整備事業に関しては、国が半分、県が25%で非常に負担が少なくてできる。ぜひ基盤整備事業は発展に繋がると思いうるため力を入れてやっていただきたい。</p>	2020/9/1
16	<p>スポーツ合宿について、蒲郡の旅館ホテルが生き残っていく一つの手段としてスポーツ合宿は大事である。</p> <p>小中学校体育館等々を使う方たちから、使い勝手が悪いから何とかしてくれといったことも言われていたが、今年度予算もついた。評価にしっかり明文化されているので、五次に向けてしっかりやっていただきたい。</p>	2020/9/1
17	<p>重点施策プログラムとして、5つのテーマを掲げている。施策を横断して、戦略的に重点的なテーマとして、この10年間やっていくものを位置付けたものであったと思う。この評価をしなければいけないと思う。</p> <p>四次のテーマとして「協働」を進めていくということがあった。協働がどの程度この町の中で進んできたのかと思うと、1つの施策の事業の中でしか、位置付けがされていないというのは少し残念である。</p> <p>今後10年、間違いなく、デジタル社会は進んでいく。また、2026年にはアジア大会があったり、大阪万博がある。そうした一過性のイベントもこの地域にとっては大きな意味を持つものがあると思うが、それ以上にリニアが大きい。新時代に向けて、東京一極集中という時代から、交流時代が来て、その先には、大阪と繋がっていくという中で、大きな国土軸の変化というものが生まれてくる。その上で、この地域が位置付けられて、どういう取り組みをしていくかというのは非常にこれからのまちづくりにとって大事になってくる。</p> <p>東三河の蒲郡が、どのようにこれから取り組みをしていくのかは非常に大事である。外部における環境の変化というものをきちっと見極めていただいて、取り組んでいただきたい。</p>	2020/9/1
18	<p>道路づくりが計画的にできていない。</p> <p>平成10年ぐらいまでの間は、区画整理で、まちづくりを行われていた。それをどうするかという反省が、総合計画には全くみられない。防災面、定住促進、企業誘致もすべて道路を結局どうするかによるところが大きい。23号ができ、そこから浜町に行く道路は、住宅地内をトラックが走らないように計画されているか、クランクがないということなどを、総合計画で謳わないことはどうか。</p> <p>子供が学校行くのに、安全に歩道取っつけるところがない。</p>	2020/9/1
19	<p>普通教室に空調設備を整備したが、今後特別教室に設置することについてはどのタイミングでやるかは課題だと思う。学校規模の適正化との関係の中で、どういう形で進めていくかというのは将来見据えた環境整備であるためきちんと考えていただきたい。</p> <p>東三河広域連合について介護保険が動き出し、8市町村にとって、経費削減されているのか。市民目線に立ち、広域連合になったことが有効かどうかを検証してほしい。窓口が増えて、どっちに言ったらいいのかなどの迷いが出ているという話しが介護の施設などからあると感じるため今後、きちんと評価して整備をしていただきたい。広域連合で介護保険ことをやっているが広域連合で受けとめてやるのに、市におろしてくるといったことが、散見をされたように感じるため、整理をしていただきたい。</p>	2020/9/1
20	<p>ICTの活用や特に窓口業務での民営化について、整理して取り組んでいただきたい。</p> <p>財政のことで公会計の導入ということで固定資産台帳整理して財務台帳を作成した。そこまではできたがその先がなかなか見えてこない。</p> <p>なかなか難しい問題ではあるが、先進的に取り組んでいる自治体等を参考に、この先どのように有効に活用するかということも、今後の方向性の中に入れていただきたい。</p>	2020/9/1

蒲郡市議会全員協議会

No.	意見	備考
1	新型コロナウイルスは大きな影響を及ぼしてこれからも続いていくと思う。都市部にいる必要性は薄れて、分散型のネットワーク型社会への転換ということになる。蒲郡もそういうところを目指さなければならないのではと思う。旅行の形態も変化してくる。変化してくる可能性があることをしっかりと検討する必要がある。アフターコロナ、ウィズコロナについて触れるべきである。	2020/9/28
2	市長のマニフェストの中核である市民憲章に沿った構成にしてはどうか。一番目が「こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり」、2章が「笑顔で安心して暮らせるまちづくり」、第3章が「賑わいと元気あふれるまちづくり」に変えてはどうか。	2020/9/28
3	市民病院の医療センター化、救急を消防から市民病院の管轄に変更、農林業においては、ほ場整備を計画する、防災においては防災公園の整備と拠点となる総合体育館などを含めてしっかりやらなければならない。	2020/9/28
4	個別施策に対して数値目標を立てるべき。	2020/9/28
5	人口目標については、自然減がどの程度あり、高齢化がどの程度進む想定になっているかを分析し、施策を検討すべき。なぜ第4次総合計画の期間で8万人の人口維持が達成できたのかを分析すべき。	2020/9/28
6	産業界が大きく変化している。蒲郡市の方向性として大企業を誘致したいのか、中小企業・まち工場を誘致したいのか方向性がわからない。大企業を誘致しようとする、形原町と西浦町すべての面積が一つの工場の敷地として要求される。そのような土地を用意できるのか。誘致した時に、住宅と工場の軋轢や騒音振動の問題があったかと思うが、一度整理して将来計画を立てるべき。市街化区域という考えではなく、近隣市町と共同で敷地を用意するという考えもある。	2020/9/28
7	幹線道路は、昭和30年代40年代に作った計画をそのまま作っている。これを今度、作り直す予定があるかは不明。	2020/9/28
8	育てる漁業について、水産業は、現在全国的にいうと育てる漁業に、様変わりしてきている。単価も減少しているため、これからは、いかに育てる漁業の敷地を探すか、育てる事業自体は業者に任せればよいが場所をどうするかを検討する必要がある。これが新しい産業としての一つの目標というか、考え方かと思うため、この辺をもう少し真剣に検討されたらどうか。	2020/9/28
9	数値目標を掲げてほしい。下水道整備など、工事が進んでいない現状がある。	2020/9/28